



牛丸 尋幸 議員

### 若者の暮らし応援を。低所得者への支援を。施策の財源は十分ある。

#### 低賃金・非正規問題

問 働く青年の低賃金問題は深刻だ。ある青年の方が次のような声が寄せられた。「職場の中で青年労働者のうち9割が3年以内に辞めていく。辞める理由は第一に賃金が安いこと、第二は長時間労働であること。ハローワークで求人票を見ると、10年くらい前は、給料は約15万円程度だったが、今では12万円程度にまで下がっている。正社員の募集は、1割程度しかない。ぜひ、賃金引き上げと正社員化に取り組んでほしい」と。青年の低賃金・非正規雇用問題について、市として、実態調査も含めて取り組むべきではないか。

答 働いている方のニーズを把握することも必要なので、研究したい。

#### 福祉灯油制度の実施を

問 消費税増税や物価上昇で、暮らしは苦しくなるばかりだ。低所得者の方などにに対し、福祉灯油制度を実施すべきではないか。

答 現時点では考えていない。今後の経済状況には柔軟に対応する。

#### 基金は228億円に

問 2014年度末で市の財政調整基金は、約228億円となった。国からの地方交付税が、今後5年間に40億円程度削減されるため、それに財政調整基金を補てんとするとされているが、必要な財政調整基金はどのくらいと考

ているのか。

答 今後10年間で、全基金のうち178億円を取り崩す予定で、このうち財政調整基金は82億円を見込んでいます。

問 今後10年間は、財政調整基金を82億円使えば、市政はやっていくという見通しということか。

答 82億円で行っていくという言い方もありますが、実施計画で示した事業の財源として、82億円を繰り入れるという趣旨である。

問 228億円の財政調整基金がある中で、今後10年間は82億円程度で何とかなるとすれば、相当額の財政調整基金があることになる。それは交付税削減問題以外で使えるということか。

答 財源があるからやるという発想でなく、必要な事業に財源を充てるという発想である。

「牛丸」必要と認めるかどうかの問題で、財源はあるということだ。



沼津 光夫 議員

### 倒木災害の対応状況と今後の危機管理

#### まちづくり協議会における町内要望の対応について

問 町内要望の対応順位については、市が順位を決めて、執行すべきではないか。

答 まちづくり協議会で優先順位を議論することは、地域の皆さんが課題を共有し、地区全体の利益を検討する機会になると考えており、市民が主役のまちづくりの具現化につながる取り組みであると考えている。

#### 6月補正の倒木処理状況について

問 倒木の現状及び倒木処理支援事業の要望件数と金額は。

答 倒木は約140ヘクタールである。要望件

数は113件で補助金額は3,200万円である。

#### 問 今後どのように事業を進めていくのか。

答 倒木処理の相談がある森林組合等林業事業体に、倒木処理支援事業と間伐補助事業など他の事業を組み合わせて、森林所有者に負担の少ない提案をするよう協力を依頼し、倒木処理が促進されるよう努めていく。

#### 問 森林の間伐事業・育成天然林整備事業を推進し、作業路の新設を行うべきでは。

答 作業道の開設は積極的に促進する。

問 木材の発電用バイオ燃料としての利用についての考え方は。

答 倒木処理により生じた材を含め、身近で豊かな森林を資源にした自然エネルギー利用を進めることで、森林・林業の再生や雇用の拡大等、暮らしの豊かさに繋がる持続可能なまちづくりをすすめていきたいと考えている。



丹生川町の倒木の状況

#### 今後の危機管理の考え方について

問 携帯電話により固定電話機・携帯電話が不通になり無線だけが通信可能となった。行政無線の考え方は。

答 通信事業者においては、携帯電話の基地局のバッテリーを増強する等の取り組みをすすめているほか、電力会社においても、電線周辺の倒木対策を検討している。非常時の通信手段の確保については研究する。